片桐英数塾通信

夢のような奇跡の話

本質を見つめ直し、これからの時代に向き合う時

実は、あまり対外的に言っていないことがあります。それは、あまりに凄いことで、いや、奇跡と言っても良いほどの現実離れした夢のようなことなので、逆に得意満々に大っぴらに外に向かって言うものも憚られる、というようなためらいもあり、これまで外部にはほとんど言えていなかったことです。

実は、あの有名な数学参考書『Focus Gold』著者である竹内英人先生が、今年の四月より、当塾高三生のために、週三回のペースで早朝より数学のオンライン特別講義『朝予備』を毎週開講してくださっております。信じられないでしょう？ 私もです。この授業を受講している人たちは、その凄さを十分に分かっているとは思うのですが、本当にその凄さを痛感するのは、たぶん、大学に進学して、全国の進学校からやってきた友達から「高校時代はどんなだったの？」と聞かれ、「実は、竹内英人先生の数学の講義を、週三回、受けていたんだ」と答えた時のその友達の反応を見た時になると思います。そのくらい夢のようなことなのです。

その竹内先生と言いますと、とにかくご多忙を極める日々を送っていらっしゃいます。現在名城大学の教授として、将来数学の先生になりたいという学生たちの教職指導をされる傍ら、中学高校の教科書をはじめ、参考書や問題集など数多くの書籍を執筆、また模試の作問や、共通テストの分析など、日本の数学教育界の第一人者として多方面で活躍されていらっしゃいます。一方で小中高校生たちに算数数学の面白さを伝えようと全国各地で出前授業や講演活動をされており、先月近くの高校へ来られた際、過密スケジュールの合間をぬって当塾に足を運んで下さいました。今回竹内先生からは、「一年間朝予備を受けてきた君たちは、僕の教え子ですから、第一志望に絶対に合格してほしいと思って気持ちを込めて書きました」と、受験生全員にメッセージを書いた色紙を贈ってくださいました。

「受験生にとってはこれから試験本番までが最も苦しい時期。やってもやっても伸びない不安になることもある。苦しくなったときに頭の中に思い描いて欲しいこと、それは○○大学に合格すると言うことよりも、もっと先、五年後十年後それぞれの場所で活躍している自分の姿。そのためには何をすればいいのか、どれだけ本気で夢をかなえたいか、その強い気持ちを持っている人が乗り越えられる。試験当日まで努力をし続けてきた人は、必ず新たな世界が広がる。人生が変わる。周りで支えてくれている人に感謝をして、やれることはすべてやったと清々しい気持ちで本番が迎えられるように、頑張ってください。君たちの人格や人間性は、別に大学名では決まらない。十年後、二十年後、プライドを持って一生懸命夢に向かって活き活きと輝いている君たちに再び会えることを楽しみにしています。」と、温かいエールをいただきました。先生の力強い言葉が受験生たちの心に響いて、みんな本当に良い顔をしておりました。竹内先生には何と感謝していいのかわかりません。最高のプレゼントを本当にありがとうございました。

竹内英人先生が今年も来塾されました

受験生一人ひとりに合格メッセージを書いた色紙をプレゼントしていただきました

さて、話は変わりまして、ここでまずお詫びしなければならないことがあります。この前の七月号で、塾通信を「毎月書く！」と豪語しておりましたが、夏以降しばらく書けていませんでした。大変失礼いたしました。なぜかと言いますと、こう書くのも恥ずかしいのですが、「忙しかったから」です。言い訳にもならないのですが……。「今、大変だけど、これをすれば塾生が伸びる！」という確信を得たことがあり、それに今、一生懸命に取り組んでおりまして、それにはそれはそれは地道な作業が必要で、今、完成を夢見て一人でコツコツ頑張っているところです。というわけで、七月に「毎月書く」と豪語はいたしましたが、以後、しばらく、この塾通信は、「書けるときに無理をせずに書く」という方式に切り替えさせていただきたいと考えております。

ところで、みなさん誰もが実感していると思いますが、今、時代が急速に変化しています。たとえば、円は急速に安くなっています。ちなみに、十年前の二〇一二年は一ドル八十円でした。ところが、最近では一ドル一五十円を超えたりすることもありました。一ドルで七十円も違う……。円高の時も問題がありましたが、こうも円安になるとさすがにいろいろと考えてしまいます。

他にも様々なことが昔と比べると全然変わってきています。とある新聞の記事の抜粋です。「河合塾が国の学校基本調査などからまとめたデータによると、二〇〇一年度入試では、国公私立を合わせた大学の定員総数は五三万九七七〇人で、大学志願者数は七五万三二十四人。単純計算で倍率は約一・三九倍あった。その後、全国の大学の定員総数は毎年約三千人ずつ増加。二十一年度入試では六二万三五二〇人となった一方で、少子化の影響などで大学志願者数は減少し、六五万八二六六人に。倍率は約一・〇五倍にまで下がっていた。これまでの平均的な定員総数の増加率と志願者数の減少率、十八歳人口に対する大学志願率などから計算すると、早ければ、来年四月入学向けの入試にも理論上の「大学全入時代」が訪れる可能性があるという。」とあります。大学は入りやすくなる。そして、入試形態も私立のみならず国公立大学も多様化しつつある。一般入試のために一生懸命に勉強する以外にも進学できる選択肢が増える。考えようではこれはいい傾向なのかもしれません。しかし、喜んでばかりもいられないように、私は思います。

何年か前、大学院を卒業し、今度は大学で学生を指導する側に就いた卒塾生と話したことがありました。彼は、中学一年生の時から通ってくれていたのですが、中一の時は、アニメが好きでロボットが大好きでした。彼の夢は「ガンダムを作る！」ことでしたが、それは何も中学の時だけでなく、高校でもそうでした。周りの友達が「受験も近いのに、大丈夫かな？」と心配していたぐらいでしたが、実は、彼は「ガンダム」が作りたかったわけではなく「ロボット」が作りたかったのですね。それで、「この教授の下で学びたい」という大学を見つけ、そこへ進学し、今は、その教授の片腕として頑張っています。そして、先日、本屋さんで立ち読みしていて見つけたのですが、彼が研究している技術は、今後期待できる科学技術が書かれた本に掲載されていました。

彼との話の中で、「大学に楽しみに来るというのもいいのかもしれないけど、せっかく大学で本格的な学問を学べるのに、大学の勉強についていけないというのはもったいない。大学で学ぶことは、高校の時に勉強したことが基本になっているので、高校のときの勉強はしっかりしておくべきです。」という話がありました。

ふと、彼との話を思い出しながら思ったのですが、塾を生業にしておきながらこのようなことを書くのもどうかと思うのですが、今やっている勉強は大学の進学のためだけというのではなく、特にこれからは自分の将来の投資として勉強に取り組むべきではないかと思います。

勉強とは、自分という人間を成長させ大きくなるというのが本来の目的だと思います。こういう時代だからこそなおさら勉強の本質を見つめ直すべき時なのかもしれないと、考えています。

全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

KATAGIRI English and Mathematics School

小６生 募集中！

新中１準備講座 １２月スタート!!

小６生の皆さん、お待たせしました！１２月から小６生を対象に新中１準備講座を開講します。この講座では、中学校で習う内容を先取りするだけでなく将来伸びる為に必要となる土台作り、学習習慣づくりもサポート。わからなくてもすぐにあきらめないで、じっくり考えるタフな思考力を楽しみながら身につけていきましょう。計算王決定戦、クイズ王決定戦へのエントリーもお待ちしております。

英語

小学生で英語が始まり、ちょっとした英語をしゃべったり聞いたりすることには慣れてきているころかな？　中学生になると読んだり書いたりすることも大事になってきます。読んだり書いたり、文字で理解することを目指す講座です。

算数・数学

クイズやパズルなども利用して「考える」ことを楽しみながら学習していきます。中学数学においても重要な「割合」「速さ」「図形」に関する問題など、小学校で習っている算数を総復習！さらなる計算力の向上も目指しながら確かな力をつけていきます！中１で学習する単元の先取り学習も行います。

国語

「文を読む力」「文を書く力」は、どの教科にも必要な大切な力です。国語の力を伸ばすことは、簡単に短期間で出来ることではありません。本を読んだり、作文を書いたりするなど、普段から意識して毎日の学習に取り入れましょう。この講座では、主に、文章を読んで考える記述問題に取り組み、読解力をつけていきます。

教　科：英語、算数・数学、国語
月　謝：７,７００円（税込）　他講座と同時受講の場合は割引があります
開講日：土曜日１６時半～１８時半（ｸﾗﾌﾞ活動などで都合がつかない場合はご相談ください）

片桐英数塾からのお知らせ

11月、12月のお休みは、

11月6日(日)、13日(日)、20日(日)、27日(日)、

12月4日(日)、11日(日)、18日(日)、25日(日)、

12月31日(土)～1月3日(火)です。

塾スタッフ募集中！

塾生の皆さんで LINE 登録がまだの方は、こちらのＱＲコードを読み取り、名前を送信してください。映像授業の予約、変更や面談などの予約、欠席のご連絡などＬＩＮＥでいつでも受付けています。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。　HP ｱﾄﾞﾚｽ http://www.katagirijuku.com

Copyright © 片桐英数塾. All Rights Reserved.